

## 施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。  
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

### 1 公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

#### ①耐震性の確保を図る整備

##### 【達成状況】

<input type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

##### (耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	50.7	50.7
中学校	50.0	50.0
高等学校		
特別支援学校		
幼稚園	0.0	0

##### 【所見】

本市では、平成18年度に小中学校、平成19年度当初に幼稚園の耐震化優先度調査を実施した。  
この調査結果を踏まえ今年度、次年度以降の耐震診断、耐震補強設計、補強工事を計画的に実施すべく、耐震化計画の概要を取りまとめた。

計画の概要は、今後10年以内に旧耐震基準の学校施設全棟(約40,000㎡)において耐震診断を実施し、 $I_s > 0.7$ 未満の建物において個々の状況を勘案しながら耐震補強を実施するもので、平成20年度には約4,000㎡の耐震診断を実施すべく議会等へ計画説明を行い、予算化したものである。

#### ②防犯対策など安全性の確保を図る整備

##### 【達成状況】

<input type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="checkbox"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="checkbox"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

平成18年9月の法改正により規制対象となった石綿含有量0.1%以上の吹き付けアスベストについて再調査の結果、含有が判明した総社小学校  
(児童用昇降口天井)、総社東小学校・新本小学校(いずれも音楽室天井)において除去工事を実施した。  
これにより、本市における全公立学校施設のアスベスト除去工事は完了した。

③教育環境の質的な向上を図る整備

【 達 成 状 況 】

<input checked="" type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="radio"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

老朽施設の機能改善として、総社東中学校及び新本小学校の屋上防水修理や、池田小学校の高架水槽給水管改修等を実施した。  
また、障害のある特別支援学級児童のため及び地域住民への学校開放を積極的に推進するためのバリアフリー化(スロープ設置、段差解消、  
車椅子で利用可能なトイレ整備、手摺り設置等)を、常盤小学校、総社北小学校、新本小学校等で実施した。

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【 達 成 状 況 】

<input checked="" type="radio"/> 計画どおり実施できた。
<input type="radio"/> 計画したが、一部実施できなかった。
<input type="radio"/> 計画したが、すべて実施できなかった。

【 所 見 】

老朽化した屋外プール整備として、総社東小学校で濾過材交換や給排水管の改修等を実施した。

## 2 事後評価の時期及び方法について

平成19年度末に、施設整備計画で計画した内容について、担当課において評価を実施した。評価方法は、数値で評価できるものについては数値化し、それ以外についても予定事業を予定どおり実施できたかどうかなどわかりやすい評価方法とした。

また、平成20年6月23日、本市教育委員会(教育委員6名)において事後評価を報告した。

## 3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

平成19年度施設整備計画で特に重点を置いたアスベスト除去工事について、計画どおりに実施できた。

耐震化計画については、予算化も図られ、今後、順次計画的に取り組むこととするが、耐震化率向上には至っておらず、計画の前倒し実施等、早い時期に耐震化率100%を目指すこととする。

なお、耐震化以外の事業については、耐震化事業との優先度、緊急度を比較検討し、引き続き整備に努めることとする。